

高大連携講座 「色の変化から化学物質の存在を認識する」

10月30日(月)

岐阜大学地域科学部

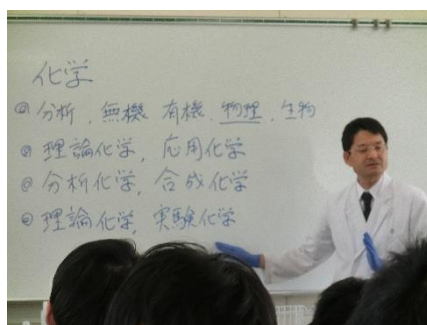
和佐田 裕昭 教授

岐阜大学地域科学部より和佐田裕昭教授・橋本智裕准教授にご来校いただき、「色の変化から化学物質の存在を認識する」と題して、本校理数科2年生に対して、高大連携講座が行われました。

- ・硝酸ニッケル溶液を、5倍ごとに薄めて色の濃淡を見る。色の見えなくなった溶液に他の試薬を入れると色の変化がおきる。・・・条件によってももの見え方が違う。
- ・塩化コバルト溶液を水で薄めたときと、アセトンで薄めたときの色の違い。・・・物の見え方は置かれた環境によって変わる。



講義開始



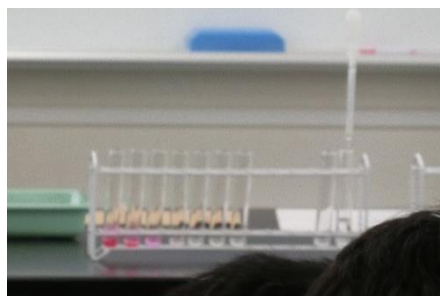
「化学」の分類



近くによって見ます



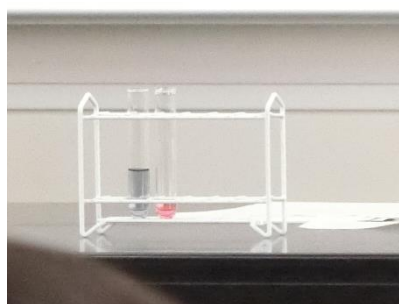
硝酸ニッケル溶液を薄めて
色を見る



他の試薬を入れると色の変化が
よくわかります



塩化コバルト溶液を薄めます



青—水、赤—アセトンを
入れました



質疑応答



終了後にも質問する生徒が
います